

都中P通信

NO. 6

発行 平成 23 年 1 月 東京都立中学校 PTA 協議会 会長 水上 幸夫

新年を迎えて、皆様方には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
昨年は、6月の総会に続きまして、8月には都庁展望室におけるコンクールの表彰や展示、11月にリーダー研修会が実施となり、皆様方のご協力とご参加をいただきまして、盛会のうちに終わることができましたことをお礼申し上げます。

さて、平成 22 年も終わり、新しい年となりました。中学 3 年生のお子様をお持ちの保護者の皆様におかれましては、何かと気ぜわしい時期ではないかとお推察いたします。
また、地区 P 連や各単位 PTA におかれましては、役員改選等でお忙しい日々を送られていることでしょう。

東京都立中学校 PTA 協議会では、地区 P 連はもちろん、各学校の PTA、各会員の皆様からのご意見やご要望をまとめ、各方面へ展開し、より良い活動をしていきたいと考えておりますので、ご意見やご要望等は、各地区 P 連の都中 P 理事の方へご連絡いただくことを含め、メール、ファックスを事務局あてにお送りください。また、理事会の傍聴、「PTA アカデミー」へもぜひご参加ください。

21 世紀に生きる子どもたちのために、公教育の発展とより良い教育環境の整備を目指して、皆様方と情報や意見の交換をしていきたいと切望しております。

本年度の都中 P の活動は 6 月の総会までとなっております。昨年同様、一層のご協力とご理解を賜りたく、ここにご挨拶とともにお願い申し上げます。

平成 23 年 1 月 吉日
東京都立中学校 PTA 協議会
会長 水上 幸夫

<東京都幼小中高 PTA リーダー合同研修会>平成 22 年 1 月 22 日 (土) 13:30~16:30 世田谷区中町ふれあいホール

【テーマ】上手に子供を突き放せる親になろう

～変わりゆく社会を生きる親と子供の力とは～

【講師】米田 功 氏 (アテネオリンピック金メダリスト)

太田 喜子 氏 (家庭教育アドバイザー)

楠元 康紀 氏 (パナソニック株式会社)

【シンポジスト】

講師 3 名

金山 滋美 (都中 P 副会長)

中井 直子 (品川区立二葉幼稚園保護者)

【進行】新谷 珠恵 (都小 P 会長)

まず、講師による講演がありました。米田氏には自分の経営している子ども向けの体操教室を通じて子どもと親の関係について感じていることと、母親からの影響についてお話いただきました。「あんたは成功するんやで」という言葉で、根拠はないが自信が持てたというコメントが印象的でした。太田氏は、家庭教育アドバイザーとしての多くの経験から、親が子離れできていない実態 (過保護、過干渉、過期待) について実例を挙げて詳しくお話いただきました。親が全部やってしまうことが子どもの自立の邪魔になっているとのことでした。楠元氏は、パナソニックの社員教育のスペシャリストとして、内定者研修から始まる新入社員教育に関して細かくお話いただきました。最近の新入社員は、『人の評価を気にする』『答えをすぐに求める』『自分の非を認めない』『積極性・自主性に欠ける』『社会性・道徳観が低い』『向上心に欠ける』等があり、これも多くは親が原因のようです。

続いてパネルディスカッションが行われました。金山さん、中井さんから現状を踏まえた発表をいただき、それをもとに講師陣 3 名からコメントをいただきました。さらに、会場の方からの質問に答えるコーナーへと移りました。多くの質問が寄せられ、全部には対応できませんでしたが、いろいろと気づかされたり、学ぶべきことがたくさんあったと思います。最後に一人ずつ締めの一言をいただき終了となりました。幾分時間をオーバーしましたが有意義な研修であったと思います。

【東京都公立幼小中高 PTA 教育懇談会】2011年1月13日



新年間もない1月13日、東京都公立幼小中高 PTA 連絡協議会主催「教育懇談会」が開催されました。「子ども達の健やかな成長と豊かな人間関係を育てるために、子どもに関する重要な諸問題について東京都教育委員会とPTAの代表が懇談を行い、その成果を各校種の取り組みに反映させよう」というもので、今年のテーマ「家庭・学校・地域・社会の連携とPTAの役割」についてPTAから意見発表を行い、意見交換をしました。都中P水上会長は、教育問題を責任の押し付け合いにせず、お互いが分担することによって協働して教育活動をすべきである、ことに価値観が多様化し、育むことが難しくなっている「規範意識」について意見を述べました。

東京都公立幼稚園PTA連絡協議会、(社)東京都小学校PTA協議会、東京都公立高等学校PTA連合会の各代表者による意見発表がありましたが、どの団体も、子ども達を取り巻く社会が大きく変わって来ていること、家庭の教育力が弱くなっていることに大きな危機感があり、そんな時代だからこそ、教育を学校任せにせず、学校・家庭・地域・行政が手を携えて「子どもを育てる」社会にしなければならないと考えています。またそのためには、これらをつなぎ、直接保護者に働きかけることのできるPTAの存在意義は大きく、何のためのPTA活動か、という原点を再確認しながら、現代の生活の変化に即したPTA活動を進めて行かなければいけない、という点も共通していました。

もちろん年齢ごとにかかえる問題は少しずつ違いますが、すべてが一人の人間の育ちを支えるという点でつながっていることも明白です。中1ギャップ解消のための小中連携にとどまらず、小中一貫教育や中高一貫校が増え、さらに幼保小の連携も重視されているのですから、単Pとしても他校種を理解し、連携することはますます重要になりそうです。

東京都教育庁の各部ごとにお話をいただきました。

学力向上については「児童・生徒の学習のつまずきを防ぐ指導基準(東京ミニマム)」による授業改善をしている、ただ体力は劣っているので、「体力向上推進本部」を設置し、3年後に全国平均に追いつくよう社会総ぐるみで取り組みたい。家庭教育の支援については乳幼児期からの支援に取り組み、地域の中でのつながりを強めたい。孤立しがちな家庭と地域をつなぐアウトリーチ活動(関係者が出向き、必要とされる支援に取り組み活動)を3地域で試験的に実施している。

「地域支援本部」についてはバラつきが出てきて、原因はいろいろあるが良いコーディネーターがいないのもそのひとつ。規範意識については基本的研究をはじめたところでもまず都民の意識調査をする。毎年先生を3000人採用しているが、地方の人材発掘など苦労している。教員特に多忙といわれる副校長のことを考え組織の見直しにも取り組んでいる・・・など。様々な興味あるお話を伺えましたが、意見交換をするには人数も多く、時間も限られていて、それが少し残念でした。

【賀詞交歓会】

教育懇談会に引き続き、東京都公立学校 PTA 新年賀詞交歓会が開かれました。教育庁の他に各校長会(中学校は東京都中学校長会長で目黒区立東山中学校長牛島先生)からもご出席いただきました。加えて特別支援学校 PTA 連合会と公立高等学校定通 PTA 連合会からも参加があり、様々な立場のかたとお話しする機会となりました。

初めてのかたが多い会場でしたが、みんな「公立」ということで垣根が低く感じられました。私達は各地の連合会の代表の集まりですが、この多様な連携を武器に、中学生の保護者のために意見を発信していきたいものです。

《PTAアカデミーお知らせ》

昨年11月に東京都特別支援教育推進計画 第三次実施計画が出されました。都中Pでは今年度のPTAアカデミーで下記のように特別支援教育の話をお聞きます。どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

2月25日(金)19:00~20:00
杉並区立井草中学校 図書室
特別支援教育の学校での取り組み
〔都校長会より〕

3月22日(火)19:00~20:30
八王子市生涯学習センター 11F 視聴覚室
発達障害の子どもへの指導について
〔安部博志氏〕

セイフティプラン24

都中Pが厚生事業として運用している会員向け団体保険。個人会員で加入。犯罪被害にも対応しており、東京都の「犯罪被害者等支援を進める会議」においても、他保険ではあまりない被害事故補償(交通事故含む)を打ち出した保険として高い評価を得ている。加入、問い合わせは都中Pまで。jpta@tokyo-jpta.org